

# 本書の構成

本機をご利用になるための準備や基礎的な知識、基本的な操作をまとめて説明しています。必ずお読みください。

本機の代表的な機能を、章単位でまとめて説明しています。お使いになりたい機能の章をお読みください。

本機で利用できる便利な機能やサービスについて説明しています。

本機の安心機能／セキュリティについて説明しています。

本機やメモ리카ードに保存されるデータ、データの管理について説明しています。

本機の音や表示、ネットワークなどの設定について説明しています。

本機についての資料や各種情報、索引などをまとめています。

準備／基礎知識

1

共通操作

2

電話

3

メール

4

インターネット

5

カメラ

6

国際電話を利用する

7

便利機能

8

安心機能／セキュリティ

9

データ管理

10

カスタマイズ

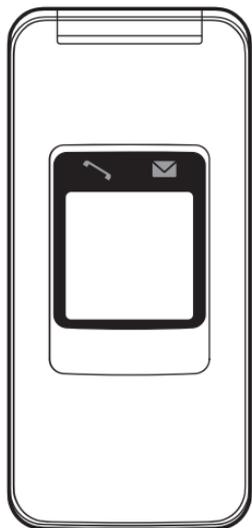
11

資料／付録

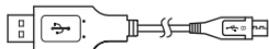
12

## お買い上げ品の確認

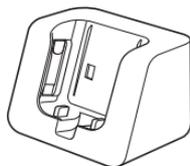
### □かんたん携帯8（本体）



### □microUSBケーブル （ZEDAD1）



### □卓上ホルダー（ZEEAW1）



### □電池パック（ZEBAT1）



### □ACアダプタ（ZECAW1）



### □見ながら覚えるBOOK

### □保証書（本体、ACアダプタ）

- 保証書を含め付属品は大切に保管してください。
- 本機はmicroSD™/microSDHC™カードに対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSDカードを購入してください。

## 本書の見かた

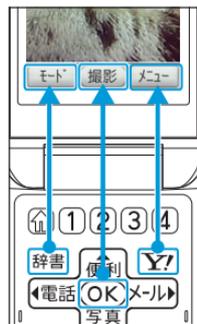
### 本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめご了承ください内容

- 「かんたん携帯8」を「本機」と表記しています。
- 「microSDカード」、「microSDHCカード」を「メモ리카ード」と記載しています。
- 説明用画面およびイラストは、実際の画面表示や字体、形状などと異なる場合があります。また、周囲の明るさなどにより、実際の画面の階調と明るさが異なる場合があります。
- キーを押す操作は、簡略なキーイラストを使用しています。
- 特に説明がない限り待受画面から操作を開始する手順を記載しています。
- キーを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

## ソフトキーについて

ソフトキーには、対応するキーの操作が表示されます。

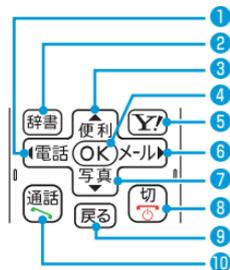


カメラ使用時

- 画面は説明用のイメージのため、実際の画面とは異なります。

## キーを押す表記について

本書では次のように表記しています。



キー	キーイラスト	説明
①	電話	電話ボタンを押します。
②	辞書	辞書ボタンを押します。
③	便利	便利ボタンを押します。
④	OK	決定ボタンを押します。
⑤	Y?	Yahooボタンを押します。
⑥	メール	メールボタンを押します。
⑦	写真	写真ボタンを押します。
⑧	切	切るボタンを押します。
⑨	戻る	戻るボタンを押します。
⑩	通話	通話ボタンを押します。

## 操作手順の表記について

ここで記載している操作手順の内容は説明用のイメージです。実際の内容とは異なります。

### 手順記載の簡略化

本書では操作手順を次のように記載しています。

例) メールを作成し、宛先を入力する例

1  → 「メールを送る」 → 

2 宛先欄を選択 →  → 「メールアドレスを入力」 / 「番号を入力する」 →  → メールアドレス / 電話番号を入力 → 

#### ■手順1

①-1 待受画面で  を押します。

①-2 メニューから「メールを送る」を選択し、 を押して、メール作成画面を表示させます。

・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。

#### ■手順2

②-1 メール作成画面で、宛先欄にハイライトを合わせて  を押して、宛先メニューを表示させます。

・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。

②-2 宛先メニューで、「メールアドレスを入力」または「番号を入力する」にハイライトを合わせて  を押して、メールアドレスまたは電話番号の入力画面を表示させます。

・  または  を押して、ハイライトを上下に移動します。

### 参照先の記載

「(P.●-●)」や「●-●ページ」で参照先のページを記載しています。

# 目次

本書の構成	i
お買い上げ品の確認	ii
本書の見かた	ii
目次	v
安全上のご注意	viii
お願いとご注意	xvii
防水／防じん性能について	xix
知的財産権について	xxiii
本製品の比吸収率（SAR）について	xxiv
Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)	xxvi

## 1 準備／基礎知識

各部の名称	1-2
本体	1-4
電池パックとACアダプタのお取り扱い	1-6
電源を入れる／切る	1-11
初めて使う時の設定	1-12
日時設定	1-15
マナーについて	1-17
マナーモード設定	1-17
電波の送受信を停止する（電波停止モード）	1-18
暗証番号	1-18

## 2 共通操作

共通操作	2-2
メニュー操作	2-2
着信時の動作	2-4
文字入力について	2-4
文字の入力方法	2-5
文字の編集	2-8
電話帳	2-9
便利な機能	2-16

## 3 電話

電話について	3-2
電話をかける	3-4
電話を受ける	3-5
電話に出られないとき	3-6
通話中の操作	3-7
発信履歴／着信履歴を確認する	3-7
オプションサービスを利用する	3-8
便利な機能	3-11

## 4 メール

メールについて	4-2
メール画面の見かた	4-3
メールアドレスを変更する	4-3
メール送信	4-4
メール受信/確認	4-11
メールの管理/利用	4-12
便利な機能	4-15

## 5 インターネット

インターネットのしくみ	5-2
Yahoo!ケータイに接続する	5-3
情報画面の操作のしかた	5-4
よく利用する情報画面を登録する	5-5
便利な機能	5-6

## 6 カメラ

カメラをご利用になる前に	6-2
写真の撮影	6-3
動画の撮影	6-4

## 7 国際電話を利用する

国際電話について	7-2
音声電話	7-3
留守番電話サービス	7-4
海外利用時の設定をする	7-5

## 8 便利機能

いろいろな機能（便利機能）	8-2
歩数計	8-3
目覚まし時計	8-5
地図	8-7
電卓	8-9
カレンダー	8-10
ラジオ	8-10
辞書	8-11
バーコードリーダー	8-13
世界時計	8-13

## 9 安心機能/セキュリティ

安心機能	9-2
セキュリティについて	9-6

## 10 データ管理

データ管理	10-2
メモリカード	10-5
メモリカードバックアップ	10-6
便利な機能	10-9

## 11 カスタマイズ

初めて使う時の設定をする	11-2
マナーモードを設定する	11-2
待受画面を設定する	11-3
背面画面を設定する	11-3
電話の音や振動を設定する	11-3
メールの着信音や振動を設定する	11-4
光るお知らせボタンの設定	11-4
ボタンを押した時の音量を設定	11-4
ワンタッチダイヤルを登録する	11-5
その他の設定	11-5

## 12 資料／付録

USIMカードのお取り扱い	12-2
ソフトウェア更新	12-4
文字入力時のボタン割り当て	12-6
故障かな？と思ったら	12-7
絵文字一覧	12-8
メモリ容量一覧	12-9
主な仕様	12-9
使用材料	12-10
索引	12-11
保証とアフターサービス	12-17
お問い合わせ先一覧	12-18

# 安全上のご注意

- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本機の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## 表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>危険</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷* <sup>1</sup> を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 <b>警告</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷* <sup>1</sup> を負う可能性が想定される」内容です。
 <b>注意</b>	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷* <sup>2</sup> を負う可能性が想定される場合および物的損害* <sup>3</sup> のみの発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
- ※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

## 絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 <b>禁止</b>	禁止（してはいけないこと）を示します。
 <b>分解禁止</b>	分解してはいけないことを示します。
 <b>水濡れ禁止</b>	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 <b>濡れた手で扱ってはいけないことを示します。</b>	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 <b>指示</b>	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 <b>電源プラグを抜く</b>	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

## 本機、USIMカード、電池パック (ZEBAT1)、microUSBケーブル (ZEDAD1)、ACアダプタ (オプション品)、卓上ホルダー (ZEEAW1) の取り扱いについて (共通)

### ⚠ 危険



禁止

高温になる場所 (火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など) で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所 (こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など) においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、microUSBプラグ・ACアダプタを接続する際、うまく接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また充電端子を破損・焼損させる原因となります。



禁止

本機とACアダプタ・卓上ホルダーを接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

本機内部・電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーを濡らさないでください。

本機内部に水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



指示

本機に使用する電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーは、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーの発熱・発火・故障などの原因となります。

## 警告



禁止

本機・電池パック・microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーを加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機・microUSBケーブル・ACアダプタの発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。IPコードは防水・防塵性能を表す規格ですが、この規格に準拠していても、異物や液体の付着によるショートを防止できるものではありません。また海水・プール・熱湯などは防水性能の対象外となります。異物や液体が付着した場合は、十分に取り除いてから充電してください。



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントからACアダプタを持ってプラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。
  2. 本機の電源を切ってください。
  3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。
- 異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

## ⚠️ 注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。パイプレーター設定中や充電中は、特にご注意ください。また充電中の落下は端子の破損の原因となります。



禁止

本機をACアダプタから取り外す際は、コードを引っ張らず、ACアダプタのコネクタを持って取り外してください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。



禁止

充電中は、本機・ACアダプタに長時間触れないでください。低温やけどの原因となります。



指示

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。

けがなどの原因となります。

## 本機の取り扱いについて

### ⚠️ 警告



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



禁止

本機をズボンなどのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないでください。

無理な力がかかるとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。



禁止

充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。  
※ご注意ください電子機器の例  
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。



心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。心臓に影響を与える恐れがあります。

## ⚠️ 注意



車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。本機を自動車で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



本機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないでください。キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



ストラップなどを持って本機をふり回さないでください。本人や周囲の人に当たったり、ストラップが切れたりして、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。



着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。難聴になる可能性があります。



本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります（「使用材料」(P.12-10)）。



本機を長時間ご使用になる場合や充電中など、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のごもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



充電しながら本機を長時間使用すると、本機やACアダプタの温度が高くなる場合がありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。低温やけどなどの原因となります。



本機を開閉する際は、指やストラップなどを挟まないようご注意ください。けがなどの事故や破損の原因となります。



イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳をいためたりする原因となります。

## 電池パック (ZEBAT1) の取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認したうえで、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

### ⚠ 危険



火の中に投下しないでください。  
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。  
変形した電池パックを使用すると、漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。ご使用の際は、電池パックの状態をご確認ください。



電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。  
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。  
失明などの原因となります。

### ⚠ 警告



電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。  
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。  
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。  
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

### ⚠ 注意



不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。  
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

## USIMカードの取り扱いについて

### 注意



禁止

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないでください。

故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。



禁止

USIMカードは指定以外のものを使用しないでください。

指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。



禁止

USIMカードのIC部分への接触は、データの消失や故障の原因となる可能性があります。不要なIC部分への接触は避けてください。



禁止

本機を使用中、USIMカード自体が温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。

## 卓上ホルダー (ZEEAW1)、microUSBケーブル (ZEDAD1)、ACアダプタ (オプション品)の取り扱いについて

### 警告



禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。

ACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流ACコンセント専用）

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



禁止

雷が鳴りだしたら、microUSBケーブル・ACアダプタには触れないでください。

感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でmicroUSBケーブル・ACアダプタのmicroUSBプラグや電源プラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差しのまま放置し、ACアダプタのプラグに異物や液体が付着したり、ACアダプタのプラグを踏みつけたりすると感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグ  
を抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちにACアダプタを持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。



指示

電源プラグにほりこりがついたときは、ACアダプタを持って電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。

火災の原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、ACアダプタの電源プラグやmicroUSBケーブルの端子に導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電・ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



指示

microUSBケーブル・ACアダプタは、本機専用の機器です。他社製品にご使用にならないでください。

万一、他社製品にご使用され、ショート、火災、故障が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

## ⚠️ 注意



禁止

プラグや充電端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。

やけど・感電・傷害・故障の原因となります。



禁止

microUSBケーブル・ACアダプタをコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。



禁止

microUSBケーブル・ACアダプタのケーブルを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないでください。また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないでください。

感電・発熱・発火の原因となります。



禁止

microUSBプラグ・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるかったりするときは使用しないでください。



禁止

充電中は卓上ホルダーの充電端子に長時間触れないでください。

低温やけどになる恐れがあります。



指示

本機からmicroUSBケーブルを取り外す際は、コードを引っ張らず、microUSBプラグを持って取り外してください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、端子の破損による感電や火災などの原因となります。



電源プラグ  
を抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ずACアダプタを持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



指示

ACアダプタをコンセントから抜くときは、ACアダプタを持ってプラグを抜いてください。  
感電や火災などの原因となります。



指示

microUSBケーブルおよびACアダプタは、周囲温度5～35℃、周囲湿度25～80%の範囲でご使用ください。



指示

ACアダプタをテーブルトップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。  
火災や故障の原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会 [平成26年8月]）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。  
電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。  
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- ・手術室・集中治療室（ICU）などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- ・病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：電波の停止）に切り替えるか、または本機の電源をお切りください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

## ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（P.12-18）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 本機はソフトウェアアップデートに対応しております。ソフトウェアは最新の状態でご利用ください。
- 本機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通信が困難になることがあります。また、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してください。
  - ・ 誤った使いかたをしたとき
  - ・ 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
  - ・ 動作中に電源を切ったとき
  - ・ 故障したり、修理に出したとき
- 回線の混雑状況や通信環境などにより、通信速度が低下、または通信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 爆発物を取り扱う場所、その近辺では本機を使用しないでください。爆発を誘発する恐れがあります。また、爆破装置などに影響を与える場合があります。
- 本機で利用するUSIMカードは、一部機種（これまで当社より発売された機種を含む）ではご利用になれません。

- 充電中や長時間連続でご使用された場合、本機が熱くなることがあります。
- 長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。取り扱いにはご注意ください。
- 充電中、microUSBケーブル・ACアダプタ・卓上ホルダーが熱くなることがあります。

## 通話中／通信中の制限について

- 通話中／通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も、通話料、通信料がかかりますのでご注意ください。

## カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることを確認してください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合を除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

## 画像について

- 本機でメモ리카ードに保存した画像データは、その他の端末では使用できない場合があります。

## 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、緊急速報メールの受信設定は「受信する」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。

- 緊急速報メールの受信設定を「受信する」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

## メモ리카ードについて

- メモ리카ード（市販）をご利用される場合は、あらかじめメモ리카ードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

## 技術基準適合証明について

- 本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。技術基準適合証明に関する情報 (㊚等) を確認できます (P.11-5)。

## お取り扱いについて

- 電池残量の少ない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化したり、本機が使用できなくなる場合がありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
- 本機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
- 本機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

## 本機の防水／防じん性能

本機は、端子キャップをしっかりと閉じ、電池カバーを取り付けた状態で、IPX5（旧JIS保護等級5）\*1相当の防水性能およびIP5X（JIS保護等級5）\*2相当の防じん性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

●実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

●本機は、IPX5の防水およびIP5Xの防じん性能を有していますが、ホコリ、砂、泥、金属粉、食べこぼし、清涼飲料水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。

## 本機のお取り扱いについて

- 電池カバーは確実に取り付け、端子キャップはしっかりと閉じてください。接触面に細かいゴミ（髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など）が挟まると、水や粉じんが侵入する原因となります。
- 端子キャップや電池カバーが開いている状態で、水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外してください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、電池カバーや端子キャップの開閉は絶対にしないでください。
- 常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。

## 使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ・石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ・海水、プールの水
  - ・温泉、熱湯 など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 砂や泥などがきれいに洗い流せていない状態で使用すると、本機に傷がついたり、破損するなど故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください（開閉、ボタン操作を含む）。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水（6リットル／分を超える）を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- サウナでは使用しないでください。また、ドライヤーなどの温風は当てないでください。
- 本機は温度：5℃～35℃、湿度：35%～90%の範囲でご使用ください（風呂場などでの一時的な使用に限り、温度36℃～40℃の範囲で可能）。
- コンロの脇や冷蔵庫の中など極端に高温・低温になるところに置かないでください。
- 送話口やスピーカー部の穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなる場合があります。十分に水抜きと乾燥を行ったうえでご使用ください。
- 電池パック・卓上ホルダー・ACアダプタ・microUSBケーブル・オプション品は、防水／防じん対応していません。
- 落下させるなど、本機に強い衝撃を与えたり、送話口やスピーカーなどを綿棒やがったものでつつかないでください。防水／防じん性能が損なわれることがあります。

- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- ヒンジ部に砂などが入ると、開閉の感触が悪くなったり、異音が生じる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 電池カバーや端子キャップに劣化、破損があるときは、防水／防じん性能を維持できません。これらのときは、「ソフトバンクショップ」までご連絡ください。

## 充電時のご注意

- ACアダプタ・microUSBケーブル・卓上ホルダーは、防水／防じんに対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。また、充電しないとときでも、風呂場などに持ち込まないでください。
- 本機が濡れているときは絶対に充電しないでください。感電や回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 外部接続端子の端子キャップを開いて充電したときには、充電後しっかりと端子キャップを閉じてください。
- 濡れた手で卓上ホルダー・ACアダプタに触れないでください。感電の原因となります。
- 卓上ホルダー・ACアダプタは、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 防水／防じん性能を維持するために

- 端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンは、防水／防じん性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - ・はがしたり、傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - ・端子キャップや電池カバーのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、水や粉じんが侵入する原因となることがあります。
  - ・端子キャップや電池パック周囲（電池カバー側）のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談のうえ、ゴムパッキンを交換してください。
- 防水／防じん性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、部品を交換することをおすすめします。

お客様ご依頼による部品の交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ一覧」(P.12-18)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

## 本機の洗いかた

本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流 [6リットル/分以下、常温 (5℃～35℃) の水道水] で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。電池カバーを取り付けた状態で、端子キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。

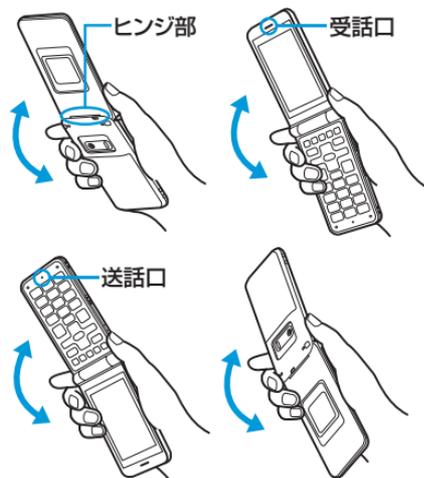
- 電池カバーや端子キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 乾燥のために電子レンジには絶対入れないでください。電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。また、本機を発熱・発煙・発火させたり回路部品を破壊させる原因となります。
- 乾燥のためにドライヤーの温風を当てたり、高温環境に放置しないでください。本機の変形、変色、故障などの原因となります。

## 水抜きのしかた

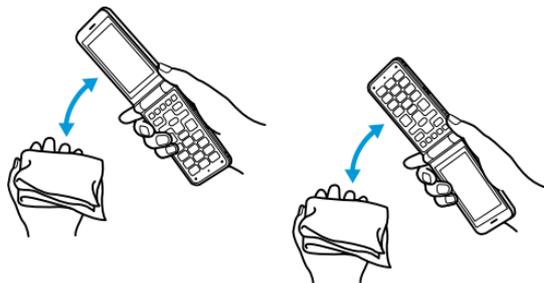
水に濡れたあとは、必ず「ヒンジ部」、「送話口」、「受話口」の水抜きを行ってください。

- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

- 1 本機の表面の水分を乾いた布などで拭く
- 2 本機のヒンジ部をしっかりと持ち、20回程度振る



**3** 各部のすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る



- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。

**4** 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温で放置する

**水滴が付着したまま使用すると**

- 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
- 外部接続端子部がショートする恐れがあります。
- 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

## 肖像権について

他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰でも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラの機能のご使用を心がけてください。

## 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的または家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作人人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本機を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本機にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したのものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

●お客様は別途著作権者の許諾なく本機に搭載されたソフトウェアの全部または一部を、複製もしくは改変、ハードウェアからの分離、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングなどの行為を自らせず第三者にさせないでください。またその利用を行わないでください。

- SoftBankおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- S!メール、写メール、位置ナビ、安心遠隔ロックは、ソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- ZTE、ZTE中興およびロゴは、ZTE Corporationの中国およびその他の国における商標または登録商標です。Copyright © 2015 ZTE Corporation. All rights reserved.
- 本機は（ソフトバンク携帯電話の一部では）、インターネットブラウザおよびメーラとして、株式会社ACCESSのNetFront BrowserおよびNetFront Messaging Clientを搭載しています。Copyright© 2002-2015 ACCESS CO., LTD. ACCESS、NetFrontは株式会社ACCESSの日本またはその他の国における商標または登録商標です。本機のソフトウェアの一部にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

## ACCESS NetFront®

- microSD、microSDHCロゴは、SD-3C, LLCの商標です。



- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 着うた®、着うたフル®は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 「Yahoo!」は、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名および商品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

# 本製品の比吸収率 (SAR) について

本項目における【302ZT】とは、本機【かんたん携帯8】を示しています。

この機種【302ZT】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準<sup>\*1</sup>は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【302ZT】の側頭部におけるSARの最大値は0.201W/kgであり、また下記の方法<sup>\*3</sup>により身体に装着した場合のSARの最大値は0.527W/kg<sup>\*2</sup>です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

## 側頭部以外の位置におけるご使用方法<sup>\*3</sup>

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属 (部分) が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) に規定されています。

※2 この値は同時送信の値です。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

### 総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

### 一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/index02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会（FCC）の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」、「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

## 欧州における電波ばく露の影響に関する情報

本携帯電話機【302ZT】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯電話器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.175W/kg、本書に記述する所定の方法（xxiv）<sup>\*3</sup>で使用した場合のSARの最大値は0.909W/kgです。

## 米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。FCC で定められている SAR の許容値は、1.6W/kg となっています。測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.073W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.765W/kgです。

身体装着の場合：この携帯電話機【302ZT】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面

を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

### FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)

<http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

### 世界保健機関 (英文のみ)

<http://www.who.int/emf>

### SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

# Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

**“302ZT” here refers to this mobile phone “Kantan Keitai 8.”**

This mobile phone 302ZT meets Japanese technical regulations\* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.

The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.

The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP\*\*, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).

The highest SAR value for this mobile phone is 0.201 W/kg when tested for use at the ear, and 0.527 W/kg\*\*\* when worn on the body in the below manner\*\*\*\*.

While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.

Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

## **Use at positions other than at the ear\*\*\*\***

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between it and the body and

the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

\* The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

\*\* International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

\*\*\* The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:

### **Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)**

<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>

### **Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)**

<http://www.arib-emf.org/index02.html> (Japanese)

This mobile phone [302ZT] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

## European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.175 W/kg\*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide (See Page xxvii)\*\*\*\*. In this case, the highest tested SAR value is 0.909 W/kg\*.

\* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

## FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial

safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.

The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.073 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.765 W/kg.

Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://www.fcc.gov/oet/ea/> after searching on FCC ID SRQ-302ZT.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/>.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

**World Health Organization**

<http://www.who.int/emf>

**List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by  
smartphone/3G model**

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)